

## 2 多様な主体の参画のための体制整備の進展

### ②地域住民の主体的な参加を引き出すしくみ・体制整備の例

#### 神奈川：地域団体等の活動への行政による継続的支援

「秦野市里山ふれあいの森づくり事業」は、林業体験や自然学習などにより森林や林業への理解を深めるため、市民の団体またはグループが行う林内整備、普及啓発およびふれあい活動に対する活動支援を行う事業である。

支援対象は下記の通り。活動場所については地権者・団体・秦野市の三者で協定を結ぶ。

<支援対象経費（平成 17 年度）>

- ・林内整備費（1 年目 393,000 円/ha、2 年目以降 196,000 円/ha、補助率 1/2、上限 50 万）
- ・林内整備道具購入費（補助率 1/2、上限 6 万）
- ・普及啓発活動（看板・パンフ等の作成・設置等）（補助率 1/2、上限 2.5 万）
- ・ふれあい活動（キノコ植菌、炭焼き、巣箱設置等）（補助率 1/2、上限 2.5 万）

平成 17 年度の実績では、14 団体がこの制度を利用し、約 20ha の里山を整備している。

